

株式会社大福食品工業

「食卓に笑顔の花を咲かせたい」

[製造業]

冷凍食品製造

代表者名：代表取締役社長 門脇一郎

従業員数：40人

創業：昭和47年

住所：須坂市大字日滝 2247-1

TEL：026-245-8561

事業内容：冷凍食品製造、数十種類のオリジナル
オーダーメイドコロッケほか

給与：950円～（パート製造員）

<http://www.korokkeland.com/>

大福食品工業は、須坂駅から車で5分ほどの果樹畑が広がる日滝地域にあります。昭和47年に会社を設立して以来、美味しさと共に楽しさや夢を届ける「コロッケランド」をブランドに掲げ、冷凍食品の製造を一筋に取り組んできました。設立当初からコロッケ製造に力を注ぎ、今までにクリームコロッケや枝豆コロッケなど数十種類のオリジナルオーダーメイドコロッケを作っています。その他にも、シューマイやつくね、肉だんごなど身近な商品を幅広く製造しています。

社長の門脇さんは現在69歳。長野県北部の温泉地である野沢温泉村に生まれました。会社設立後、須坂市に工場を建設。設立して45年目になる現在も、40人余りの社員と共に、人々が笑顔になれる商品づくりに誇りを持ち、さらなる夢を追い続けています。



●人々を笑顔にする製品づくり

大福食品工業で最大の目玉商品は「スマイルシート」を使ったイラスト入りコロッケです。このスマイルシートは寒天素材で出来ており、水分のあるところへ乗せることで新たな商品の付加価値を生み出します。食の世界を大きく変える、まるで魔法のシートです。コロッケやケーキ、ハンバーグに乗ったチーズにもイラストを入れることができるので食卓が明るく変化します。スマイルシートは「乗せるだけ」で夢が広がる素材です。



●お客様からのご要望に応えます

「毎日、全国からコロッケの注文依頼があります。オリジナルのイラストがコロッケになるんです。世界一楽しいコロッケじゃありませんか？県内はもち



ろん県外の小学校などからも給食用に取り入れたいと注文があります。中には生徒自身が描いた作品を採用して給食に出している所もあります。自分が描いたイラストが給食のコロッケになるなんて、きっと夢のようですよ」門脇社長は心から楽しそうに語ってくれました。

他にも、お祭りやマラソン大会など地域のイベントで楽しく演出するなど、コロッケが町おこしに貢献出来る幅広い可能性があることも話してくれました。大福食品工業では、コロッケがきっかけで多くの人が笑顔になることを目標に、お客様からの様々なアイデアに対応しています。



●子どもたちの心の栄養になってほしい

「夢コロッケを食べた人たちの笑顔はもちろん、作ってくれてありがとうのお礼の言葉は何よりうれしいです」と門脇社長は話します。

今の社会は核家族ということもあり、家族みんなが揃って食卓を囲み、じっくり会話をする時間もあまり期待できない時代です。子どもたちが学校給食で食べた夢コロッケの話を家に持ち帰って話題になれば、きっと家庭でも明るい時間が過ごせることでしょう。

「子どもたちと家族を繋ぐことができたらうれしい。子どもたちの心の栄養になることを目指し名付けたのがこの夢コロッケです」門脇社長が大切にしている願いです。

●社員同士でクイズにレッツトライ！

大福食品工業では、社員同士が殺菌の知識など業務に関わる衛生関連の内容をクイズにして全員で解答する取り組みを行っています。名付けて「レッツトライ！」です。社員の衛生知識の向上を目的に行われています。また、日報には志や今後の改善点などを記入し、仕事の目標設定や確認を行います。他にも報告事項やシフト予定を記入することで皆が共有し合い働きやすい環境づくりを目指しています。

このように大福食品工業は、社員の教育に力を入れるなど働く姿勢を大切にしている会社です。

●夢を描く人を求めます

「求める人材は、常に成長したいという高い志を持っている人、夢を持って働ける人です。夢のある人は自然と努力する気持ちが持てると思います。やはり夢を語る人が理想ですね」と門脇社長は話してくれました。

コロッケが身近な食品だからこそ、多くの人が笑顔になり幸せを感じることが出来ます。あなたも幸せを提供するお仕事に携わって自分の笑顔を咲かせてみてはいかがでしょうか。



(2017年6月インタビュー)